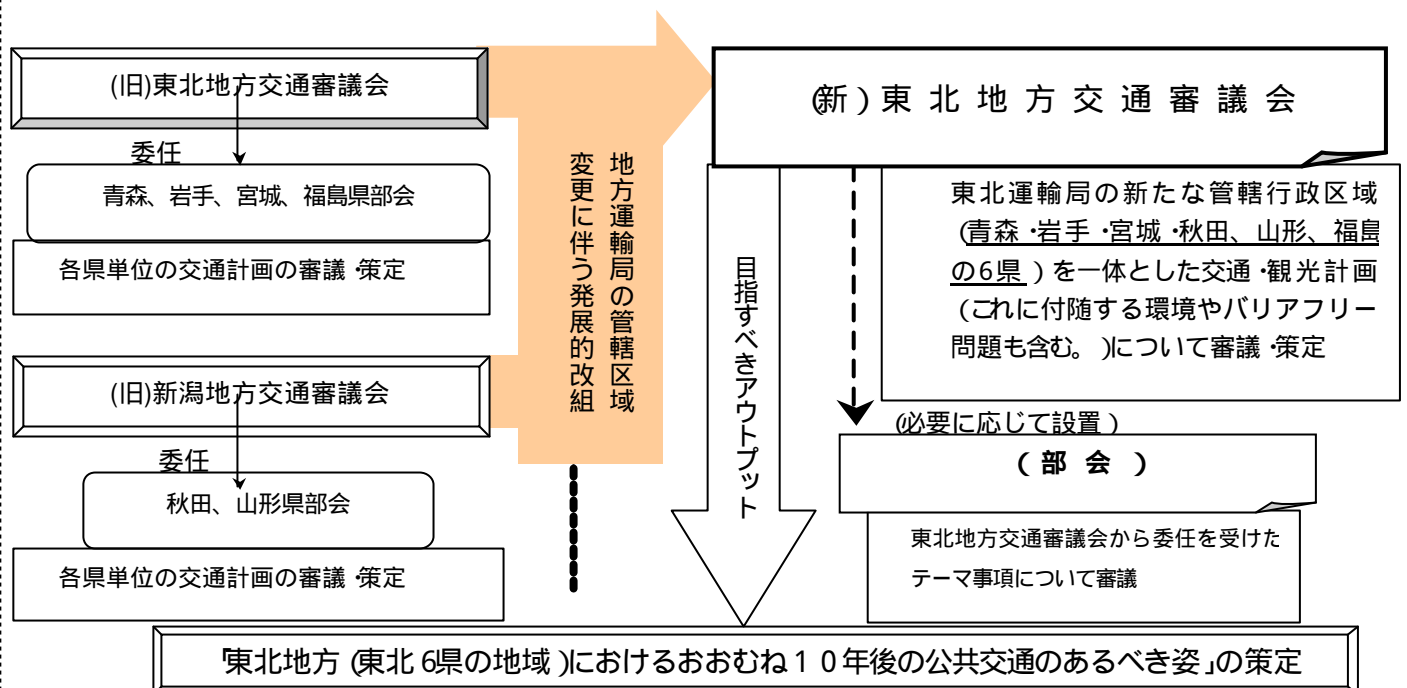


東北地方交通審議会のこれまでの経緯

平成 14 年度	東北地方交通審議会の改組（ 下図参照 ）
15 年 3 月 26 日	第 6 回東北地方交通審議会 ・ 諮問（ 諮問文及び諮問理由は別添参照 ） ・ 観光戦略部会の設置を決定
15 年 7 月 11 日	第 1 回観光戦略部会
15 年 9 月 8 日	第 2 回観光戦略部会
16 年 1 月 29 日	第 3 回観光戦略部会 中間報告取りまとめ
16 年 5 月 25 日	第 7 回東北地方交通審議会 ・ 観光戦略部会中間報告 ・ 交通部会の設置を決定

(図) 東北地方交通審議会の改組等について



【従来の各県単位の交通計画と比較した主な特色】

1. 少子高齢化、人口減少、経済の低成長化、モータリゼーションのさらなる進展等の交通を巡る環境の変化に対応した適切な公共交通サービスの整備のあり方を対象とすること。
2. 幹線鉄道の高速化や高速バスネットワーク等、新たな管轄行政区域全体にまたがる広域的な公共交通サービスを対象とすること。
3. 国際観光振興等東北地方全体が一体となって取り組むべき課題を対象とすること。 等

別 添

東企企第 6 1 号

平成 15 年 3 月 26 日

東北地方交通審議会 会 長 殿

東北運輸局長

久米 正一

諮 問 書

下記の事項について、貴審議会のご意見を承りたく諮問いたします。

記

東北地方における望ましい交通のあり方及び観光振興戦略について

諮 問 理 由

近年、我が国においては、経済の低迷が長期化する中で、地方における人口減少、少子高齢化の進展をはじめとする経済・社会の構造的変化が鮮明になってきている。そのため、このような経済社会構造の変化に早急に対応する必要がある。

交通は、これまでも社会経済の発展や国民生活の質的向上に大きな役割を果たしてきたところであるが、今後は更に各主体が連携を図りつつ、近年東北地方においても整備が進みつつある交通インフラを十分に活用した効率的な公共交通体系を構築していくことによって、これらの構造変化に適切に対応していくことが求められている。

また、こうした構造変化の中で、東北地方でも地域の活性化が喫緊の課題とされているところであり、その重要な柱の1つとしての観光の振興に対する期待が高まっている。このため、東北地方の関係者が一丸となって観光振興への取り組みを強化していく必要が出てきている。

近年、昨年12月の東北新幹線八戸延伸開業をはじめとする高速交通体系の整備によって人々の行動圏は着実な広がりをみせているが、そうした中で、交通の整備及び観光の振興は、東北地方全体の課題として、広域的な連携を図りつつ進めていくことが必要となっている。

このため、このような状況を踏まえた東北ブロックという広域的な地域における今後の望ましい交通のあり方及び観光振興のための戦略の基本的な指針を確立する必要がある。